

No. 2 施設の応急点検

地震直後の建物は危険です。
二次災害防止のため、危険箇所の有無を確認し、**危ない箇所には貼り紙等を貼って近づかない対策**をしてください。

まず初めに

①二人1組を3～4組作る

適宜増やしてもよい

②各組の担当箇所を決める

(例)

点検箇所		割り当て
建物周囲		1組
建物内部	1階	1～2組
	2階	
多目的ホール		1組

③裏面に記載の用具をもち、 点検を行う

点検用具は○の一式です

中央の茶色の袋を持ち、点検に向かうこと



中央の茶色の袋には、それぞれ2人1班分の点検用具が入っています。

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| ☐ ビブス | ☐ マジックペン 赤 |
| ☐ 点検手順書（この紙） | ☐ マジックペン 黒 |
| ☐ 施設平面図（備蓄倉庫等） | ☐ バインダー |
| ☐ 施設平面図（白図面） | ☐ ライト（単3電池付） |
| ☐ チェックリスト | ☐ トラテープ（赤、黄） |
| ☐ 立入禁止貼り紙 | ☐ 軍手 |
| ☐ 要注意貼り紙 | ☐ ハサミ |

必要に応じて使用する物（応急処置、養生用）

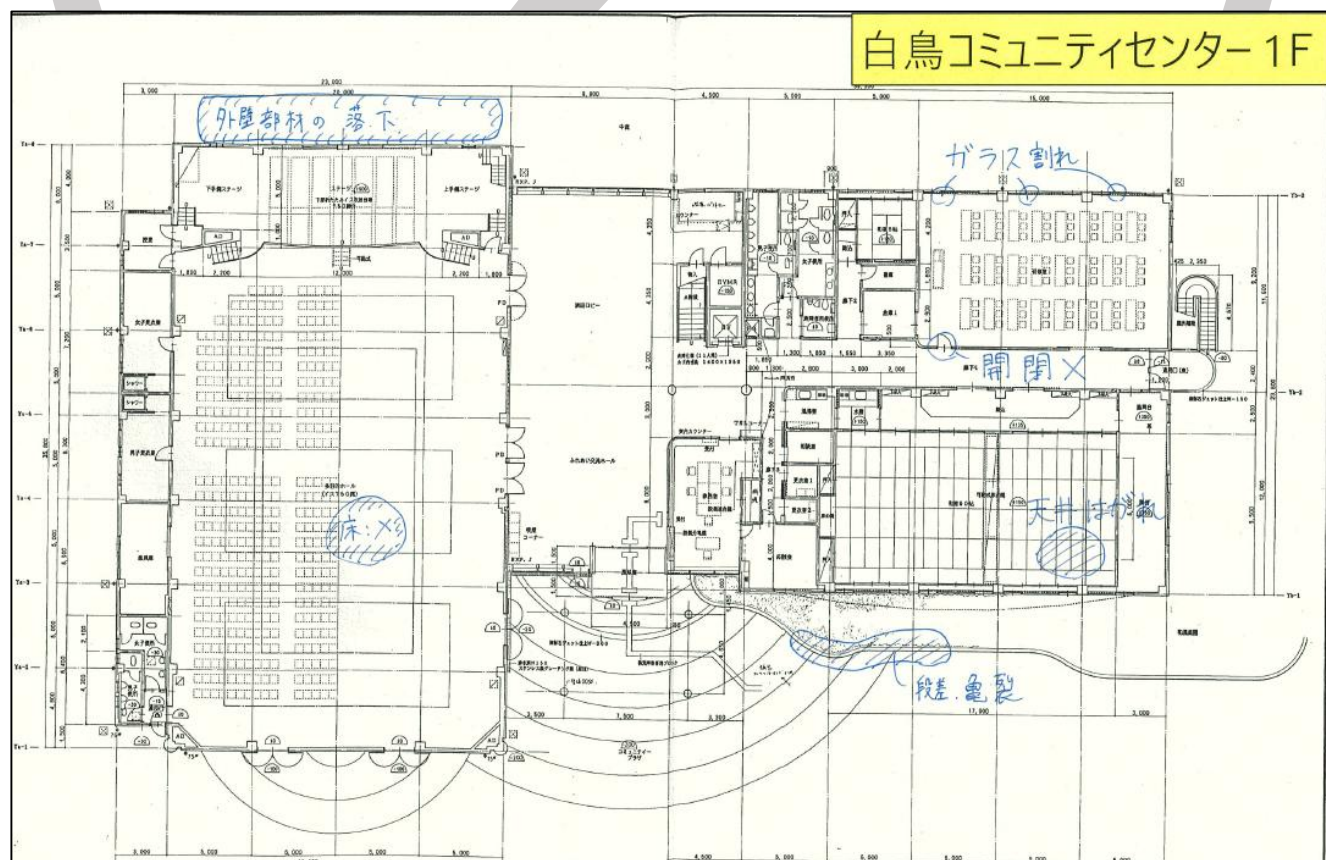
- ☐ トラロープ（避難所開設ボックス内）
- ☐ 養生シート（備蓄倉庫内）

④危険箇所を図面にマークし、 立入禁止の処置や、安全確保 する処置を行う

※危険の判断は、バインダー付属の
チェックリストに従って行う。

※多目的ホール（体育館）の点検を最初
に完了すると、待機中の避難者を受入
れできるので、最初に行うとよい。

点検記入例（参考）



⑤処置完了次第、危険箇所を誘導班（総括）の人に伝達する。

伝えること

- ・ 立入禁止とした**危険箇所**
- ・ 立入可能だが、処置をしているため**注意が必要な箇所**
- ・ その他伝達すべきと感じた事項

この報告により

- ・ 誘導班はとりまとめて、避難者に周知する

⑥点検後は、点検した箇所により、トイレ班又は誘導班として活動する。

ホール（体育館）を点検した組
→誘導班支援

その他の箇所を点検した班
→トイレ班